

## 檀原市のSDGsの取り組み

問 2015年9月の国際サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）とは。

答 2030年を期限に「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、貧困をなくすなど17の目標が掲げられ、各国が当事者意識を持って17の目標達成に向けた枠組みの確立が期待されている。

問 課題はグローバルだが実践の場はローカルである。SDGsに対する国の動きは。

答 平成28年5月の閣議決定で「持続可能な開発目標推進本部」を設置し、SDGs実施の指針を策定し、「あらゆる人々の活躍の推進」、「健康・長寿の達成」など8つの優先課題を打ち出した。

問 17の目標のうち、11番目「住み続けられるまちづくり

を」の取り組みは。

答 人口減少と高齢化に対応して、多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを目指す。中南和のゲートウェイの役割を担い、にぎわいのある健やかなまち、公共交通ネットワークをベースにコンパクト、持続可能で低炭素なまちづくりを進める。

問 SDGsと本市の総合計画、総合戦略との関係は。

答 SDGsの8つの優先課題2つ目の「健康・長寿の達成」は、総合計画の「福祉と健康づくりで明るいまち」、5つ目の「省・再生可能エネルギー」、気候変動対策、循環型社会」は、総合計画の「持続可能な環境をつくるまち」と合致している。また、1つ目の「あらゆる人々の活躍の推進」は総合戦略の「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」、4つ目の「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は総合戦略の「安心して便利に暮らせるまちをつくる」に合致しており、おおむね方向性が一致している。

問 SDGsの教育について取り組みとESDとは。

答 平成29年3月に公示された新学習指導要領に「持続可能な社会を創る」担い手を育てることが学校の役割であると明記された。持続可能な開発目標の達成に参画する人材育成を担うのが教育である。ESDは「持続可能な開発のための教育」のことで、環境、平和などの現代社会の問題を自分たちの問題と捉え、解決のために考え、行動できる力を育てる教育のことであり、ESDを推進する拠点がユネスコスクールになる。

問 ユネスコスクール加盟校の活動は。

答 平成23年6月に畷傍中学校と今井小学校、平成27年4月に白檀北小学校が加盟した。今年度白檀北小学校は環境活動として「自分たちの使う水について調べよう」をテーマに、上下水道やダムでの学習、ビオトープの観察や米づくりの体験などを行った。今井小学校は地域の歴史に学び、郷土を愛する心を育てる取り組みをしている。畷傍中学校は「人権問題を正しく理解し、差別をなくす意欲と行動力を育てる」をテーマに学習している。

## 一般質問

森下みゆ子  
(公明党)

幸せを育むまちづくり  
「婚姻届け出挙式」



記念撮影スペース



ユネスコスクール認定プレート

問 ユネスコスクールに加盟していない学校の取り組みは。

答 各校の取り組みをSDGsの視点で捉え直し、よりよい社会のつくり手としてつなげられる取り組みを推進する。

問 SDGsの取り組みについての市長の決意は。

答 「飢餓をゼロにする」というのは日本では考えにくい。これを求めているところが日本からどのように支援をしていくのかを考えるのがSDGsであり、子どもたちに伝えることで海外に視野を広げていければと考えている。

問 費用もあまりかからない為、工夫して前向きに実施をしてほしいが、市長の考えは。

答 非常にいい話である。毎年600件前後の方が婚姻届を出すので、その際の1つの思い出として、いろんな方策を模索したい。

問 新分庁舎内フォトブースは、自由に撮影でき、休日利用も可能な為、利用者数は把握していない。新分庁舎交流スペース、展望施設の有効な取り組みを考え検討したい。

問 新分庁舎内フォトブースは、自由に撮影でき、休日利用も可能な為、利用者数は把握していない。新分庁舎交流スペース、展望施設の有効な取り組みを考え検討したい。